



野鳥 シジュウカラ

全国各地で、山にも町にもいる。白いほお、白い腹に黒いネクタイ模様が目立つ。雑食であるシジュウカラは、「種子」「木の実」「昆虫」「クモ」を餌にしています。スズメサイズの小鳥です。

ニュース 2023.3.1 Vol.259
とうめい news

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

めまい(眩暈)は、なぜ耳鼻科なの? 耳鼻咽喉科: 濱田 昌史

もう既に多くの方がご承知かと思いますが、今回は改めて「なぜ耳鼻咽喉科でめまいを診るのか?」についてお話しさせていただきます。

カメラなどを固定する3脚は、3本脚だから安定するのであって、2本脚なら倒れてしまいます。では、なぜ人間は2本足で立って歩けるのでしょうか?それは、絶えずぐらつくそばから元の位置に戻す力が無意識に働いているからなのです。人間が自分の身体の位置と動きを知るのには、「視覚(空間の中の位置を認識する)」「内耳平衡覚(主に三半規管において身体の回転を知る)」「深部知覚(どの筋肉にどれだけ力が入っているかを感じる)」の3つの感覚を利用して、それらから得られた情報を小脳(+脳幹)と呼ばれるところが統合・整理した上で、全身の筋肉に命令を出して身体のバランスを保っているのです。ですから、これら3つの感覚や小脳・脳幹に障害が生じるとバランスが保てなくなり、「めまい」を感じるようになります。目を瞑った状態や暗い場所ではなんとなく不安定な感じがするのもそのためです。そして図に示すように、めまいの原因としてはこれらの障害のうち、小脳や脳幹の障害(脳梗塞など中枢性めまい)よりは内耳平衡覚(三半規管~内耳神経)の障害(末梢性めまい)の割合が圧倒的に多いのです。

末梢性めまいの半数以上を占め、全原因別でも最も多い「良性発作性頭位めまい症」とは、耳石と呼ばれるごく小さな内耳中の石が、頭の位置を変えたタイミングで外れ、三半規管の中で浮遊することからめまいが生じると考えられています。よって1回1回のめまいの長さは数十秒程度ですが、頭を動かす度に繰り返し起こり、患者さんを悩ませます。また「前庭神経炎」はバランスを司る神経にウイルスが感染したものと捉えられており、いったんめまいが生じると2~3週間めまいが持続する厄介な病気です。一方で、めまいの代表疾患として世に知られる「メニエール病」は、耳の病気からめまいが起こることを世界で初めて提唱したフランス人の名前に由来するものですが、ストレスが原因でホルモンバランスが崩れ、蝸牛(かたつむり)や三半規管にリンパ液の循環障害(内リンパ水腫)が生じたものと考えられていて、片耳もしくは両耳の難聴や耳閉感(耳が詰まった感じ)を伴います。加えて、原因は不明ですが、あるとき突然に片耳の聞こえが悪くなる「突発性難聴」にめまいが合併することもあります。よって、これら2つの病気では、聴力の低下がないかどうか聴力検査が必要となります。

とうめい厚木クリニックの耳鼻咽喉科では、この聴力検査を行ったり、赤外線CCDカメラを使ってわずかな眼振(めまいの兆候)を見逃さない診察を行ったりしていますので、めまいでお悩みの患者さんはお気軽にご相談ください。ただし、手足の痺れや立てない・歩けない・呂律(ろれつ)が廻らないなどの症状を伴う場合は、脳梗塞など中枢性めまいの可能性が高く、いち早く救急外来を受診することが望まれますのでご注意ください。

